## 令和5年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	E	本史 B		単位数	2	履修学年	3	学科	・コース	文型選択	
教科書 詳説日本史 改訂版(山川出版社)				最新日本史図表 四訂版(第一学習社) 副教材等 改訂版 4 ステージ演習ノート 日本史 B (数研出版) 日本史重要語句Check List (啓隆社)				担当	者	干場			
1. 科目の目標					2. 学習の進め方や留意点			3. 評価の観点と函中コンピテンシー					
界の歴史 資料から	と関連付けながら総合	的に捉えて 様々な情報	いて,地理的条件や世 理解するとともに,諸 を適切かつ効果的に調	大学入学	マまでの学習内 対通テスト受	受験に必要な知	『識の定着をは	いた演習により、 よかる。 する技能を身につ			知識・技 能	思考・判断・表現	主体的な 態度
(2) 我が国 特色なと	の歴史の展開に関わる	事象の意味 3, 比較, 相	や意義,伝統と文化の 互の関連や現在とのつ て多面的・多角的に考	ける。	) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	O. M. C.	, ши у с - 22.) т			傾聴力	0		0
察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想 したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、そ れらを基に議論したりする力を養う。					(1) 1年次履修の「日本史A」、2年次履修の「日本史B」との関連を意識しながら学習に取り組むこと。 (2) 現在の日本や諸外国との関係も意識しながら理解するよう心が					思考力	0	0	
(3) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うととも				けること。 (3)歴史用語の理解にとどまらず、歴史的事象の因果関係や時代背				協働力		0	0		
本国民と	i的・多角的な考察や深 ∶しての自覚,我が国の ፤重することの大切さに	歴史に対す	る愛情,他国や他国の	景にも意	意識して学習を	生めること。				先見力		0	

## 4. 学習計画と評価規準

月	単元・学習内容	時間	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	原始・古代 5		・原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解することができる。 ・原始、古代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けることができる。	・歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み 取れる情報から、原始・古代の特色について 多面的・多角的に考察し、仮説を表現することができる。	・日常の学習を主体的に振り返る時間を設け、 知識の定着に努めることができる。 ・定期的に学習状況を振り返り、改善に努める ことができる。
5	中世		・中世の政治・社会や文化の特色を理解することができる。 ・中世の特色を示す適切な歴史資料を基に,資料から歴史に関わる情報を収集し,読み取る技能を身に付けることができる。	・歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、中世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現することができる。	
6	近世	5	・近世の政治・社会や文化の特色を理解することができる。 ・近世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けることができる。	・歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み 取れる情報から、近世の特色について多面 的・多角的に考察し、仮説を表現することが できる。	
	【前期中間考査】	1	【評価方法】	【評価方法】	【評価方法】
		【16】	前期中間考査	前期中間考査 ワークシート	振り返りシート
7	近代・現代	4	・近代、現代の政治・社会や文化の特色を理解することができる。 ・近代、現代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けることができる。	・歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近代・現代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現することができる。	知識の定着に努めることができる。
8	近代・現代【単元テスト】		・近代、現代の政治・社会や文化の特色を理解することができる。 ・近代、現代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けることができる。	・歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近代・現代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現することができる。	
9	史料読解	5	・様々な時代、分野の歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けることができる。	・歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、日本史の各分野の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現することができる。	
	【前期期末考査】	1	【評価方法】	【評価方法】	【評価方法】
		[14]	前期期末考査 単元テスト	前期期末考査 単元テスト ワークシート	振り返りシート

10	史料読解	5	・様々な時代、分野の歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けることができる。		<ul><li>・日常の学習を主体的に振り返る時間を設け、 知識の定着に努めることができる。</li><li>・定期的に学習状況を振り返り、改善に努める ことができる。</li></ul>
11	テーマ史(経済史)	5	・日本経済史の特色を理解することができる。 ・各時代の経済の特色を示す適切な歴史資料を 基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、 読み取る技能を身に付けることができる。	・歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み 取れる情報から、日本経済史の特色について 多面的・多角的に考察し、仮説を表現することができる。	
12	テーマ史(北方史、琉球・沖縄史)	4	<ul><li>・北方史、琉球・沖縄史の特色を理解することができる。</li><li>・国際関係史の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けることができる。</li></ul>	取れる情報から、北方史、琉球・沖縄史の特 色について多面的・多角的に考察し、仮説を	
	【後期中間考査】	1	【評価方法】	【評価方法】	【評価方法】
		[16]	後期中間考査	後期中間考査のワークシート	振り返りシート
1	テーマ史(教育史)	1	<ul><li>・日本教育史の特色を理解することができる。</li><li>・教育史の特色を示す適切な歴史資料を基に、 資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技術を身に付けることができる。</li></ul>	・歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み 取れる情報から、教育史の特色について多面 的・多角的に考察し、仮説を表現することが できる。	
2					
_					
3					
	【学年末考査】	[ ]	【評価方法】	【評価方法】	【評価方法】
	合計	46			